

ドラセナ



ドラセナ（ドラセナ・フラグランス・マッサンゲアナ）は熱帯アジアやアフリカが原産の観葉植物です。幸福の木とも呼ばれ、大きさは 30 c m から 200 c m 程になるリュウゼツラン科の植物です。葉の色は緑や赤で斑入りの葉が多いようです。先の尖った葉は、悪い空気（邪気）を払う効果があるとも言われています。もともと丈夫な性質で、多少の日陰や乾燥にも強く、日本の環境でも元気に育ってくれます。水やりの頻度もそれほど高くなく、管理に手間がかかりません。レースのカーテン越しの柔らかい光が入る、明るい室内で育てるとよいです。直射日光は「葉焼け」の原因になります。葉が茶色く変色してしまうため、強い日差しが当たる場所は避けてください。ドラセナは日陰にも比較的強いですが、あまりに暗い場所だと葉の色が悪くなったり、ひよろひよろと弱々しく育ったりします。健康に育てるためには、できるだけ明るい場所に置きましょう。

水やりは土の表面が乾いたら、たっぷりと与えましょう。与える量は鉢の底から水が流れ出てくるまで、たっぷりと与えます。水やり後、受け皿に溜まった水は必ず捨ててください。溜まったままだと、根が常に湿った状態になり、根腐れを引き起こします。また、水やりとは別に「葉水」も効果的です。霧吹きで葉全体に水を吹きかけることで、乾燥を防ぎ、ハダニなどの害虫予防にもなります。特に空気が乾燥する時期は、毎日してあげると良いでしょう。

ドラセナの花言葉は「幸福」、「隠しきれない幸せ」、「永遠の愛」、「幸せな恋」、などがあります。